

平成 24 年度 第 8 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 24 年 12 月 14 日（金） 午後 3 時 00 分～午後 3 時 55 分

場 所：県庁 10 階 病院事業管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，
経営企画課長 ほか

病院 各県立病院長，中央病院副院長，三好病院看護局長，
海部病院看護局長，各県立病院事務局長 ほか

(1) 平成 24 年度決算見込み（10 月末）について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成 24 年度の決算見込み（10 月末現在）について示す。

(2) 医療圏における病診連携の現状と課題について

【説明】中央病院

地域完結型医療を推進していくため，中央病院における地域医療連携に関する取組内容や今後の課題等について説明する。

【質疑等】

病院局：今年度は 10 月末までに約 5,300 人の退院があり，そのうちの約 900 人については，地域医療センターにおいて退院支援を行っているとのことであるが，残りの退院患者についてはどうしているのか。

中央病院：1 泊 2 日の検査入院等をはじめ，多くの方はリスクなく退院できている。

病院局：退院時に特別な支援をしなくても良いということか。

中央病院：転院する患者の約 95 %は地域医療センターがかかわっていて，おむね把握はしている。

三好病院：早期の介入については，どのように決めているのか。

中央病院：クリティカルパスで既に話ができているれば，すぐに対応している。残りは病棟カンファレンスの中で決めている。

三好病院：中央病院の平均在院日数が 10 ～ 11 日という中で，介入をどのタイミングで行っているのか。

中央病院：依頼があれば行っている。

【説明】三好病院

地域医療支援病院の承認を目指す三好病院における，現在までの病診連携の取組状況及びその成果や今後行う予定の取組について説明する。また，今後の課題等についても説明する。

【説明】海部病院

海部病院における病診連携の現状について説明する。また、「圏域外からの紹介より圏域外への紹介の方が多く」、「南部Ⅱ医療圏には療養型病院及び回復期病院がない」など課題についても報告する。

【質疑等】

管理者：海部郡の人口は約 23,000 人とのことであるが，そのうち，対象となる患者数はどのくらいか。

海部病院：23,000 人プラス東洋町の人口約 3,000 人が対象となるが，実際は，美波町の人阿南市内の病院等に行くことが多く，海陽町の人メインとなっている。また，救急については，牟岐町，海陽町及び東洋町が対象になる。

病院局：内訳としては，海陽町が 10,000 人，牟岐町は 5,000 人くらいか。

海部病院：ただ，人口は急速に減っていつている。しかし，新しい美波町立病院が由岐地区にできることから，日和佐地区の人が海部病院に流れてくるかもしれない。

海部病院：個人的には，現在の海部病院の跡地には，民間病院が療養型病院をやってくれることを望んでいる。

(3) その他

・診療材料の価格交渉について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

診療材料の価格交渉について，交渉方法や今後のスケジュール等を説明する。

・徳島県立病院医療安全対策委員会等について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

徳島県立病院医療安全対策委員会の議題等について報告する。また，徳島県立病院医療事故等公表基準の改正案等について説明する。